

令和6年度 つくば国際大学東風高等学校自己評価表

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度への主な課題
数学科	1 基礎学力の定着	(1) 習熟度別授業や個に応じた指導を行う。教科書の基礎的な部分の理解が不十分な生徒へは補習等を実施し、理解度の向上を図る。必要に応じて、放課後や昼休みなどを活用して個別指導を行う。	B	A	・次年度は、数学Ⅰや数学Ⅱにおいて単位数が減るので授業の進め方に工夫が必要である。ペース配分や演習問題を精選し対応を図る。
	2 継続的な学習習慣の育成	(1) 授業ノートや演習ノートの点検を適宜行う。また、定期的に宿題を課し家庭学習の習慣化を図るとともに、小テストを実施し、学習への意欲を喚起させる。	A		・放課後や家庭において、生徒が自ら意欲的に学習に取り組めるよう工夫する。
	3 進路目標に応じた受験指導	(1) 進路目標別に授業を実施し、大学入試，専門学校入試，公務員試験，就職試験など、それぞれに対応する演習を行う。 (2) 演習授業や放課後の個別指導などを利用して、生徒の進路目標に応じた数学の学力を育成する。	A		・数学Cにおいて、共通テスト対策に遅れが出ないように、授業の展開・進度を工夫する必要がある。